

自殺対策事業の取組状況と今後の事業展開について

1 自殺の実態

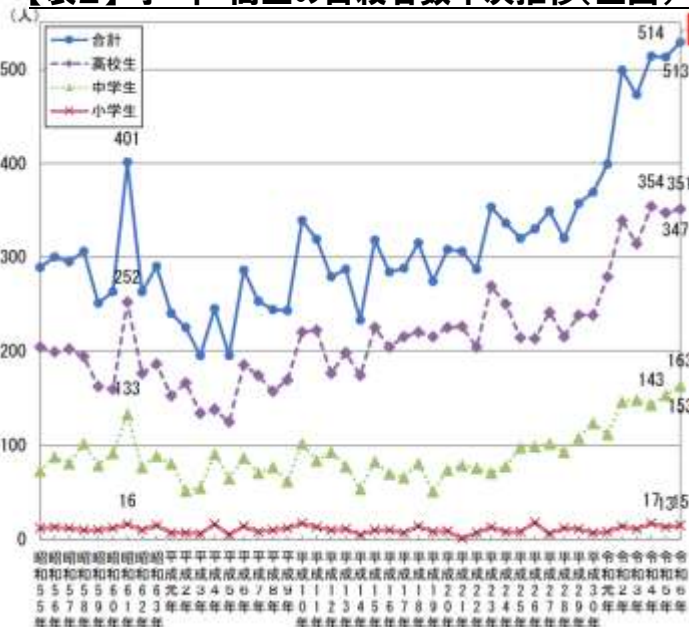
- ・令和4年より全国的な自殺者数は減少傾向にあるものの、自殺者数に占める20歳未満の割合が増加しており、**子ども・若者への自殺予防支援の拡充が課題**となっている
- ・特に**小・中・高生における自殺者数が増加傾向**にあり、令和6年においては、過去最多の529名にも及ぶ
- ・三田市における自殺者の特徴としては、**男性の20-29歳に占める割合が高い**ことが挙げられる

【表1】過去5年間における自殺者数の推移

※「地域における自殺の基礎資料」より

		R2	R3	R4	R5	R6
三 田 市	自殺者数	20	15	14	15	10
	自殺死亡率	17.9	13.5	12.8	13.84	9.33
	自殺者の特徴 (性別 年齢層 原因・動機)	男女(14:6) 30-39歳 20-29歳 健康問題	男女(11:4) 20-29歳 50-69歳 健康問題	男女(7:7) 20-29歳 50-69歳 健康問題	男女(8:7) 50-79歳 健康問題	男女(9:1) 40-49歳 20-29歳 健康問題
全 国	自殺者数 ()内は20歳未満の 自殺者数の割合	20,907 (3.72%)	20,820 (3.59%)	21,723 (3.66%)	21,657 (3.74%)	20,061 (3.96%)
	自殺死亡率	16.4	16.4	17.3	17.3	16.1
兵 庫 県	自殺者数 ()内は20歳未満の 自殺者数の割合	881 (3.86%)	891 (2.81%)	945 (3.49%)	972 (3.09%)	835 (3.95%)
	自殺死亡率	15.9	16.1	17.2	17.8	15.4

【表2】小・中・高生の自殺者数年次推移(全国)



	R3	R4	R5	R6
小学生	11	17	13	15
中学生	148	143	153	163
高校生	314	354	347	351
合計	473	514	513	529

※資料:警察庁自殺統計原票データより
厚生労働省自殺対策推進室作成

2

三田市における自殺対策の取り組み

いのち支える人材の育成

- 地域住民向けゲートキーパー講座の開催
- 市内中学生向けゲートキーパー講座の開催
- 市内教職員向けゲートキーパー講座の開催

いのちつなげる支援体制の整備

- 自殺対策に関連する庁内及び関係機関のネットワーク強化
- 各種施策との連携

相談窓口の普及・啓発

- 「三田市悩み相談窓口一覧」の作成
- 市HPや広報誌における相談窓口の掲載
- 自殺対策啓発グッズの作成・配布
- 自殺対策動画の作成
- 自殺予防週間及び自殺対策強化月間における啓発ポスターの掲示
- こころの健康づくり講演会の開催
- 市政出前講座における健康講座の実施
- 働き盛り世代向け健康応援セミナーの実施

1.ゲートキーパー講座の開催

□実施目的

ゲートキーパー講座の受講を通して、自分自身を大切にする考え方(セルフケア)や悩みを抱えた人への寄り添い方を身に着けることで、こころのSOSのサインを受け止め支えられる人材の拡充を図る

□令和6年度の実施状況

	中学生(八景)	中学生(富士)	中学生(けやき台)	教職員	地域住民
開催日時	6月7日(金) 14:35~15:25	6月25日(火) 14:35~15:25	10月11日(金) 14:40~15:45	7月24日(水) 14:00~16:00	3月1日(土) 14:00~15:45
開催場所	各中学校			総合福祉保健センター	ウッディタウン市民センター
講座時間	50分	50分	65分	120分	95分
参加対象	全校生徒 教職員	全校生徒 教職員	中学3年生	市内小・中学校 及び特別支援学校の教職員	保護者・地域活動者等
受講者数	548名 (教職員含む)	280名 (教職員含む)	約170名	57名	97名

□令和7年度の実施予定

	中学生	支援者・就労者等	教職員	地域住民
実施対象	市内全中学校(9校) ※各中学校の実施希望に基づき講座を開催	自殺の実態に即して支援者や就労者等の特定年齢層に向けた講座を開催予定[検討中]	市内小・中学校及び特別支援学校の教職員	児童・生徒の保護者や地域活動者等
実施予定	市内4校 で実施済み (八景中・狭間中・藍中・ゆりのき台中)		7月25日(水) 14:00~15:45 29名参加	3月上旬 (自殺対策強化月間)

□今後の課題

- ・自殺の実態に即した講座対象の設定(年齢層や属性など)
- ・「ゲートキーパー」を知らない人や関心がない人に参加してもらうためのきっかけづくり
- ・講座内容の充実・強化(受講者の意見を取り入れた講座形態を検討)

2.相談窓口の普及・啓発

□実施目的

電話やチャット、LINE など自分に合った方法で相談できる窓口があることを広く周知すること、悩みを抱えた際に一人で抱え込まず誰かに相談できる環境づくりにつなげる

□令和6年度の実施状況と令和7年度の取組予定

実施事業	R6年度の実施状況	R7年度の取組予定
【自殺対策動画】 兵庫ブルーサンダーズとの協働により、悩みを抱えた当事者やその周囲の人に向けた動画を作成(2本×30秒)	自殺対策動画の作成 ① 当事者 向け ② ゲートキーパー 向け →啓発チラシを市内小・中・高校に配布	自殺対策動画の周知&相談窓口の普及・啓発 →動画につながる二次元コードや様々な方法で相談できる窓口を掲載した クリアファイル を 市内中学生に配布予定
【自殺対策啓発グッズ】 自殺者数が多い特定年齢層に向けたメッセージや利用しやすい相談窓口を掲載したクリアファイルを配布	① 若者 向け →二十歳を祝う会で配布 ② 子育て世代の女性 向け →女性がん検診等で配布	
【悩み相談窓口一覧】 様々な分野に対する相談窓口をまとめた一覧を作成し市内公共施設や関係機関、地域活動者等に配布	配布枚数：約2,000部 中学生向けGK講座では中学生用に相談窓口を抜粋した一覧を配布	配布枚数：約2,000部 (R7.9月時点) 夏季休暇前に 市内高等学校 で配布(高校生版)
その他 ・9月自殺予防週間(9月10日～16日)や3月自殺対策強化月間における啓発活動 ・こころの健康づくり講演会の開催(健康増進課) ・市政出前講座における健康講座の実施(健康増進課) ・働き盛り世代向け健康応援セミナーの実施(健康増進課)		

□令和7年度新規事業「メンタルヘルスケアシステム“KOKOROBO”の導入」

- ・ストレスチェックからオンライン相談まで、同一システム内で一貫した支援を可能とする「KOKOROBO(ココロボ)」システムの利用対象区域へ三田市が参画
- ・WEB上でストレスセルフチェックを行い、リスクがある場合は**ストレスケアアプリ(AIチャットボット)**や**SNS相談、オンライン相談**等の紹介を行う

※市内在住または通勤・通学している16歳以上(高校生以上)が対象

□今後の課題

- ・対象となる年齢層や属性に応じた相談窓口の周知方法を検討
- ・関係機関や地域活動団体などの協力を得ながらポスターの掲示や相談窓口一覧の配布などを行い、日常生活の中で相談窓口の情報を取得できる機会を増やす

3.いのち支える支援体制の整備

□実施目的

自殺対策に関連のある庁内各課や関係機関等と自殺対策事業に係る意見交換や課題の解決に向けた協議の場を設けることで、誰もが困りごとを抱えたときに相談できる包括的な支援体制の構築を目指す

□令和6年度の実施状況と令和7年度の取組予定

①自殺対策庁内連絡会議

【開催目的】

自殺対策と関連性のある課の長を対象として、自殺の実態や現状における課題を共有し、自殺対策に係る取組状況の報告や今後の事業展開に関する協議を行うことで連携強化を図る

【開催状況】

令和6年度：年2回開催（第1回：令和6年8月8日 第2回：令和7年3月7日）

↓
（第2次自殺対策計画の概要説明
令和6年度における自殺対策の取り組み内容について
令和7年度の事業計画等について）

令和7年度：年内の開催を予定

②健康審議会

【開催目的】

健康づくりや自殺対策に関する現状・課題を整理し、課題解決に向けた協議を行う

【開催状況】

令和6年度：令和6年9月26日開催

↓
（第3次健康さんだ21計画(第2次三田市自殺対策計画)の取組評価について
令和6年度の取組状況と今後の事業展開について）

令和7年度：令和7年10月1日開催

③管内自殺予防推進会議

【開催目的】

管内（宝塚市・三田市）の自殺対策を推進するため、行政関係者が現状の工夫や課題等を共有し、連携強化を図ることを目的として開催

【開催状況】

令和6年度：令和7年3月21日開催

↓
（管内の自殺者の動向について
各機関における取り組みについて（庁内連絡会議の実施や自殺未遂者支援等）

令和7年度：昨年度と同様に開催予定

□今後の課題

- ・自殺対策に関する庁内横断的な支援体制の構築
- ・SOSのサインを受け止め支えられる地域づくりに向けた関係機関や民間企業、地域活動団体等との連携強化